



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 四国化成工業株式会社

コード番号 4099 URL <https://www.shikoku.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 兼 C. E. O. (氏名) 田中 直人

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理・情報システム部長 (氏名) 片山 和彦 (TEL) 0877-22-4111

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,408	△8.9	2,609	△26.9	2,822	△22.2	1,924	△24.1
2020年3月期第2四半期	25,693	2.2	3,567	3.7	3,626	△3.2	2,534	△0.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,133百万円(70.2%) 2020年3月期第2四半期 1,840百万円(△31.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	34.39	—
2020年3月期第2四半期	43.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	97,868	72,489	73.3
2020年3月期	100,896	71,647	70.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 71,694百万円 2020年3月期 70,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	△5.0	6,800	△13.4	7,000	△12.7	4,800	△14.4	86.42

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 連結業績予想については、本日(2020年10月27日)公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」もあわせてご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	55,877,263株	2020年3月期	58,948,063株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	335,700株	2020年3月期	1,900,015株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	55,971,000株	2020年3月期2Q	58,420,268株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大及び緊急事態宣言発令下において、景気は急速に悪化しました。宣言解除後、経済活動の再開が段階的に進められる中で、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られるものの、感染再拡大の懸念や、米国大統領選を控えた米中対立の深刻化、世界経済の下振れリスクの中で、当面の間緩慢な回復に留まるものと考えられます。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）の当社グループの売上高は234億8百万円（前年同期比8.9%の減収）、営業利益は26億9百万円（前年同期比26.9%の減益）、経常利益は28億22百万円（前年同期比22.2%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億24百万円（前年同期比24.1%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界規模での自動車やタイヤの生産調整の影響を受けて、国内、海外ともに低調に推移しましたが、第1四半期をボトムに生産活動は正常化しつつあり、販売も回復傾向にあります。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素、浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、低調に推移しました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤塩素化イソシアヌル酸は、国内市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学校のプール授業中止などの影響によりプール薬剤の販売が低迷しましたが、家庭の衛生意識の高まりからくる消毒・殺菌需要の増加を受け、水回り設備（サニタリー）向け薬剤は好調に推移しました。米国市場は、春先からの好天や外出規制による家庭用プール向け薬剤の需要が増加し、好調に推移しました。

（ファインケミカル）

プリント配線板向けの水溶性防錆剤タフエースは、自動車の生産調整の影響を受けて、車載基板用途等で前年を下回りました。エポキシ樹脂硬化剤（イミダゾール類）を中心とする機能材料は、自動車関連用途では市況悪化の影響を受けたものの、新規開発品が伸張しました。

この結果、化学品事業の売上高は142億97百万円（前年同期比9.2%の減収）、セグメント利益は21億31百万円（前年同期比27.9%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

②建材事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴う内外経済の先行き不透明感が強く、投資を先送りとする傾向が強まるなど様子見基調が続いており、住宅着工や設備投資が弱含む中で、壁材、エクステリアともに低調に推移しました。

この結果、建材事業の売上高は87億11百万円（前年同期比9.2%の減収）、セグメント利益は13億37百万円（前年同期比12.4%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

[参考情報]

【販売実績】

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年同期比(%)
化学品事業			
無機化成品 (百万円)	6,227	4,669	75.0
有機化成品 (百万円)	5,519	5,744	104.1
ファインケミカル (百万円)	3,993	3,882	97.2
小計 (百万円)	15,740	14,297	90.8
建材事業			
壁材 (百万円)	836	710	84.9
エクステリア (百万円)	8,756	8,001	91.4
小計 (百万円)	9,593	8,711	90.8
報告セグメント計 (百万円)	25,333	23,009	90.8
その他 (百万円)	360	399	111.0
合計 (百万円)	25,693	23,408	91.1

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	3,828	14.9	3,094	13.2
北米	2,846	11.1	3,279	14.0
その他の地域	1,092	4.3	907	3.9
合計	7,767	30.2	7,281	31.1
連結売上高	25,693		23,408	

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

財政状態は、総資産は、前連結会計年度末比30億27百万円減少し、978億68百万円となりました。主な増加は、投資有価証券25億11百万円、建設仮勘定13億18百万円、主な減少は、現金及び預金37億79百万円、受取手形及び売掛金19億97百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比38億68百万円減少し、253億79百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金15億48百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末比8億41百万円増加し、724億89百万円となりました。主な増加は、自己株式18億10百万円、その他有価証券評価差額金12億24百万円、主な減少は、利益剰余金21億0百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.2%から73.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、30億93百万円(前年同期比13億8百万円の減少)となりました。主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益28億45百万円、売上債権の減少額20億7百万円、減価償却費8億92百万円、一方で主な支出項目は、仕入債務の減少額15億97百万円、法人税等の支払額13億33百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、10億43百万円(前年同期比11億78百万円の減少)となりました。主な収入項目は、有価証券の償還による収入額35億円、一方で主な支出項目は、投資有価証券の取得による支出額22億47百万円、有価証券の取得による支出額20億円であります。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、22億89百万円(前年同期比12億57百万円の増加)となりました。主として、自己株式の取得による支出額16億5百万円であります。

以上の結果、現金及び現金同等物は、323億27百万円(前連結会計年度末比2億79百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、直近公表の計画(2020年7月28日発表)を修正しております。なお、主要な為替レートは、105円/米ドル、120円/ユーロと想定しております。

詳細につきましては、本日(2020年10月27日)公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,607	22,827
受取手形及び売掛金	13,057	11,060
電子記録債権	2,095	2,042
有価証券	11,000	11,997
商品及び製品	6,912	6,214
仕掛品	47	62
原材料及び貯蔵品	3,100	2,952
その他	283	273
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	63,103	57,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,148	5,117
機械装置及び運搬具（純額）	3,929	3,489
土地	8,849	8,849
建設仮勘定	736	2,054
その他（純額）	651	574
有形固定資産合計	19,315	20,086
無形固定資産	143	112
投資その他の資産		
投資有価証券	16,607	19,119
繰延税金資産	1,159	587
その他	570	536
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	18,333	20,240
固定資産合計	37,792	40,439
資産合計	100,896	97,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,530	4,982
電子記録債務	415	348
短期借入金	2,730	2,530
1年内返済予定の長期借入金	693	91
未払法人税等	1,356	911
その他	6,022	4,365
流動負債合計	17,747	13,229
固定負債		
長期借入金	7,157	7,991
繰延税金負債	1	1
再評価に係る繰延税金負債	1,111	1,111
役員退職慰労引当金	88	69
退職給付に係る負債	2,201	2,164
資産除去債務	379	379
株式給付引当金	23	24
その他	537	407
固定負債合計	11,500	12,150
負債合計	29,248	25,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,815	5,740
利益剰余金	56,063	53,963
自己株式	△2,183	△373
株主資本合計	66,563	66,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,972	3,197
繰延ヘッジ損益	△4	—
土地再評価差額金	2,533	2,533
為替換算調整勘定	△109	△134
退職給付に係る調整累計額	△115	△101
その他の包括利益累計額合計	4,276	5,495
非支配株主持分	808	794
純資産合計	71,647	72,489
負債純資産合計	100,896	97,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	25,693	23,408
売上原価	15,545	14,575
売上総利益	10,148	8,833
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,195	2,204
広告宣伝費	385	179
給料	1,118	1,101
退職給付費用	89	102
役員退職慰労引当金繰入額	10	9
研究開発費	635	588
その他	2,146	2,037
販売費及び一般管理費合計	6,580	6,224
営業利益	3,567	2,609
営業外収益		
受取利息	11	19
受取配当金	271	250
雑収入	27	48
営業外収益合計	310	318
営業外費用		
支払利息	8	11
売上割引	66	62
為替差損	142	27
たな卸資産廃棄損	25	—
雑損失	8	3
営業外費用合計	251	105
経常利益	3,626	2,822
特別利益		
補助金収入	44	35
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	45	39
特別損失		
固定資産除却損	7	16
特別損失合計	7	16
税金等調整前四半期純利益	3,663	2,845
法人税等	1,113	930
四半期純利益	2,550	1,915
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,534	1,924

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	2,550	1,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△695	1,224
繰延ヘッジ損益	△2	4
為替換算調整勘定	△22	△24
退職給付に係る調整額	11	13
その他の包括利益合計	△709	1,218
四半期包括利益	1,840	3,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,829	3,143
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,663	2,845
減価償却費	1,061	892
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	12	△29
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	12	13
受取利息及び受取配当金	△282	△270
支払利息	8	11
補助金収入	△44	△35
有形固定資産除却損	7	16
売上債権の増減額 (△は増加)	2,714	2,007
たな卸資産の増減額 (△は増加)	210	818
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,322	△1,597
その他	△25	△540
小計	5,017	4,133
利息及び配当金の受取額	282	270
利息の支払額	△9	△12
補助金の受取額	44	35
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△932	△1,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,401	3,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,500	△2,000
有価証券の償還による収入	—	3,500
有形固定資産の取得による支出	△732	△1,313
有形固定資産の除却による支出	△1	△15
投資有価証券の取得による支出	△4	△2,247
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	5
定期預金の増減額 (△は増加)	2,000	1,000
その他	16	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,221	△1,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	△200
長期借入れによる収入	800	900
長期借入金の返済による支出	△874	△667
自己株式の取得による支出	△0	△1,605
配当金の支払額	△642	△686
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△12	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,032	△2,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	△108	△39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,038	△279
現金及び現金同等物の期首残高	27,441	32,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,479	32,327

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2020年5月26日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式1,508,700株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,605百万円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2020年5月26日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、自己株式3,070,800株の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が75百万円、利益剰余金が3,338百万円、自己株式が3,413百万円それぞれ減少しました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,740	9,593	25,333	360	25,693	—	25,693
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1	1	134	135	△135	—
計	15,740	9,594	25,335	494	25,829	△135	25,693
セグメント利益	2,955	1,527	4,482	27	4,509	△942	3,567

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△942百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△943百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,297	8,711	23,009	399	23,408	—	23,408
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1	1	153	154	△154	—
計	14,297	8,712	23,010	552	23,563	△154	23,408
セグメント利益	2,131	1,337	3,468	54	3,523	△913	2,609

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△913百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△914百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。